

教育委員会だより

第4号 令和元年7月30日発行

発行 井川町教育委員会
北川尻字海老沢樋ノ口79-2
Tel 018-874-4424 Fax 018-874-2924
Mail kyouiku@town.ikawa.akita.jp

5年生から8年生21名が防災学習を行いました

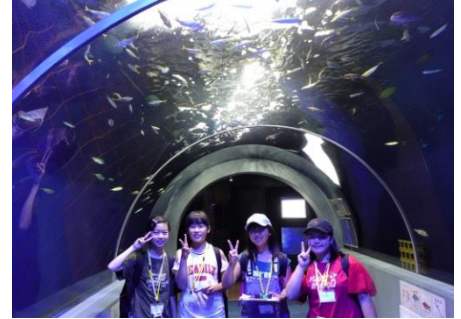
7月24日と25日、義務教育学校の5年生から8年生まで21名が、岩手県宮古市や久慈市などを訪問し、震災について学習を深めました。学年を超えた縦割り班での宿泊は初めての試みです。学習はもとより、生活面でも大きな体験をした2日間でした。



宮古市田老の「万里の長城」と呼ばれた防潮堤を歩き、津波の威力を感じました。



今年3月に開通した三陸鉄道。1両を借り切り、久慈駅長さんに同行してもらいました。



久慈市の地下水族館「もぐらんぴあ」。地震を生き延びた「かめ吉」に出会いました。

田老の防潮堤で 8年 森田 成人

田老の防潮堤に登った。宮古市にある高さ10メートルの日本一の防潮堤だ。目の前には家があって壁があって、その向こうに海があった。だが地震から40分もしないうちに津波がその2倍の高さでやってきた。

その時の津波の映像を見せてもらった。家に服を取りに戻ったおばあさんに「津波がくるぞー！逃げろ！」とみんなが叫んでいた。波が押し寄せてきたその瞬間、カメラがグルッと回り天井しか映らなくなった。撮影者が気絶したのだ。結局おばあさんは助からなかった。

浄土ヶ浜で遊んだ。きれいな海だった。たくさん海鳥がいてお菓子をあげたら食べてくれた。自然というものは美しいが、その反面恐ろしいものでもあるのだ。

心に残ったこと 5年 湊 愛美

わたしが強く心に残ったことは2つあります。1つ目は三陸鉄道です。駅長さんから震災5日後には無料で運行させたという話を聞きました。線路の上を歩く被災者を見て、駅長さんたちがほとんど寝ないで線路をなおしたからだという話に本当に驚きました。その線路は今年3月13日に、日本一長い路線として全面開通しました。

二つ目は水族館のもぐらんぴあです。震災で建物や魚たちを全て失いましたが、アオウミガメの「かめ吉」だけは生き残りました。それは水がなくても肺呼吸ができたからだそうです。「かめ吉」は今も元気に生きています。

この2日間を通して「自分の命は自分で守る」「家族と避難場所を決めておく」ことを強く思いました。

秋田県内の田園を舞台にした映画「ミステリーサークルチルドレン」(仮題)が制作されることになり、井川町を始めとして五城目町や大湯村などで今秋から撮影が開始されるとの報道発表がありました。



30年ほど前に実際に井川町であったというミステリーサークルを題材に、閉校する中学校を舞台に友情や恋愛、人口減少の中での様々な課題などがテーマになっている映画です。

オーディションも7月20日と23日に秋田市で実施され本町の児童生徒も応募しました。教育委員会でもこれから注目していきたいと思っています。

東北教育委員研修会に参加しました



7月5日(金)、福島県郡山市けんしん郡山文化センターにおいて、東北六県市町村教育委員・教育長研修会が行われ本町教育委員会の5名が参加しました。

講演では、福島県立博物館館長の赤坂憲雄氏による「異邦人が見た日本」と題し、東北を旅したイザベラバードの目にもどのように東北が映ったかについて興味深い論考をお話いただきました。

また、文部科学省の行政説明では、教員の働き方改革の具体的な取り組みと課題についての話がありました。前日には、安積高校内にある旧福島県尋常中学校や安積開拓の発祥地である郡山市開成館などを視察し、福島の教育の歴史についても研修し、充実した2日間となりました。



井川などを舞台に映画

第2回学校応援協議会が開催されました

7月17日(水)、義務教育学校ランテールームで第2回学校応援協議会が開催されました。今回は、2人の講師を招いて、研修を兼ねて井川の子どもたち、学校の問題について話し合いました。

講演

講師 佐藤 一喜氏
秋田県教育委員会CSアドバイザー
元由利本荘市教育委員会次長

熟議

秋田県生涯学習課川田社会教育主事の指導の下、学校に関わる問題を参加者が自由かつ十分に議論する「熟議」を委員全員で行いました。

「わが町は、学校によく協力している」でいいのか

学校での教育は学校の先生まかせがこれまでのやり方だった。しかし、よりよい地域社会をつくるためには、学校と地域社会が目標を共有すべき。

応援協議会の活動で地域が変わる

本荘南中の協議会では、あいさつ運動は地域も一緒にすべきという意見で、運動に広がりが見られた。岩城小中では、学校に行ったことのない人たちがたくさんいるという意見が協議会で出て、給食付きの地域学校見学会が開かれるようになった。

支援から協働へ転換させよう

ふるさと学習の充実が学校だけではできない。地域が学校を支える形から、地域も一緒にふるさと学習を充実させる「協働」が必要。役場の課長さんたちもどんどん学校と交流するなど、行政も遠慮せずに協働を促進することが大事。



Aグループ 学校と地域ができることは何か。問題点は何か。

- 運動会などは一緒にできるのでは。その際、町内単位からの脱却、複数の町内の編制など、運動会に対する認識を変える必要がある。
- 人材発掘を進め、例えば田中青年部のように積極的な団体の力を借りながら、祭りや伝統芸能などの再興ができないか。



Bグループ 学校に地域の人をもっと多く関われる方策はないか。

- 授業のゲストティーチャーとして地域の方々を多く呼んだらどうか。道徳などで話をしたり、子どもと一緒に話し合うこともできるのでは。
- 地域の方が学校に来たときに座れる場所を確保したり、時には給食を提供するなどして、子どもにいない方々にも来てもらう方策を。

Cグループ 体験活動を地域の力でもっと充実させる方策はないか。

- 昔は地域で子どもたちの宿泊行事を企画したり、他町との交流会などの取り組みがあった。そうしたよさを復活させたらどうか。
- 休み中のボランティア活動など、地域が支えて子どもたちの活動を保障することも大切。

町民の皆さんの学校に関するご意見を、ぜひ応援協議会委員にお届け下さい。



快晴の下、自然ウォーキング

7月17日(水)、快晴の下、今年度初めての自然ウォーキングを開催しました。19名がバスに乗り、琴丘に移動、新たに開設された全長

3.1km、高度差106mの「琴丘クア」の古道コースを散策しました。変化に富んだコースに参加者一同、ウォーキングを満喫し、その後、「ゆめろん」に移動。大変充実した一日を過ごしました。

秋には「トレッキング」を行いますので、ふるっての参加をお待ちしております。



□ 8月定例教育委員会のお知らせ

□日時 8月26日(月) 13:30~15:00

□場所 井川義務教育学校ランテールーム

□案件 ・学校のカリキュラムについて ・その他

※ 傍聴は10名まで可能です。申し込みは教育委員会事務局(874-4424まで)

教育委員会関係の8月予定

日	曜	活 動
1日	木	プログラミング体験会(学校 ~2日)
2日	金	ワンニャンふれあい体験(動物園他)
9日	金	放課後子ども教室(盆踊り講習会)
11日	日	桑名旗争奪全町野球大会
15日	木	町成人式
17日	土	子ども夏祭り・全町盆踊り大会
26日	月	教育委員会8月定例会

教育委員会フェイスブックをご覧ください。

www.facebook.com/ikawakatikyoui/

